

2026年9月24日

第151回 全国大学国語教育学会・鳥取大会のご案内（第2次）

第151回全国大学国語教育学会 鳥取大会実行委員会

【共催】鳥取大学

1. 開催日：2026(令和8)年10月24日(土)～10月25日(日)

- ・会場の鳥取大学はeduroam^{エデュローム}参加機関です。eduroamのアカウントをお持ちでない方には、ビジター用アカウントを発行します。大会広報サイトの[各種お知らせ](#)よりお申し込みください（締め切り：9月末日）。

2. 会場：鳥取大学 鳥取キャンパス[地域学部棟・共通教育棟A棟]

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101

- 交通アクセス <https://www.tottori-u.ac.jp/access/wide/>
- キャンパスマップ <https://www.tottori-u.ac.jp/access/campusmap-tottori/>

- ・本大会では、スタッフによる会場までの誘導はありません。
- ・宿泊施設の確保は各自でお願いします。宿泊施設は鳥取駅周辺に複数ありますが、鳥取大学前駅近辺・鳥取砂丘コナン空港近辺にはありません。なるべく早めにご予約されることをお勧めいたします。

○ 貸し切りバスの運行について

- ・1日目・2日目の朝に、鳥取駅－鳥取大学間で貸し切りバスを各日2台×2便で運行します。
- ・バスは、1台あたり53名（補助席含む）ご乗車いただけます。ぜひご利用ください。
- ・乗車場所は鳥取駅南口（鳥取フコク生命駅前ビルの前）です。

【貸し切りバス時刻表】

○10月24日○			
【①号車】			
鳥取駅＝鳥取大学…バス回送…鳥取駅＝鳥取大学			
出発	到着	出発	到着
7:40	8:05	8:35	9:00
【②号車】			
鳥取駅＝鳥取大学…バス回送…鳥取駅＝鳥取大学			
出発	到着	出発	到着
7:40	8:05	8:35	9:00
○10月25日○			
【①号車】			
鳥取駅＝鳥取大学…バス回送…鳥取駅＝鳥取大学			
出発	到着	出発	到着
7:40	8:05	8:35	9:00
【②号車】			
鳥取駅＝鳥取大学…バス回送…鳥取駅＝鳥取大学			
出発	到着	出発	到着
7:40	8:05	8:35	9:00

※各日、2便目は混雑が予想されます。
お時間に余裕のある方はなるべく1便目をご利用ください。

3. 開催日程

第1日 10月24日(土)	
8:45	開場 ※
9:30	自由研究発表
12:20	昼食 理事会
14:00	総会
15:10	シンポジウム
17:40	
18:00	懇親会
20:00	

第2日 10月25日(日)	
9:00	開場 ※
9:30	課題研究発表
12:00	昼食
12:25	若手研究交流企画
13:40	自由研究発表 ラウンドテーブル
16:30	
※ 受付なし (会場での当日現金申込 不可/オンラインで申込手続きを 済ませてからご来場ください)	
* 公開講座は別日程 1月9日(土) 14:00～17:00 オンライン開催	

4. プログラム

- ※ 自由研究発表・ラウンドテーブルのタイトル、発表者・コーディネーター・登壇者の氏名、所属の標記は、原則としてご本人による登録内容をそのまま転記しています。
- ※ プログラム作成は入念に行いましたが、誤植等があれば大会事務局(木村)までご一報ください。

<第1日 10月24日(土)> 【午前】

◎ 自由研究発表 9:30～12:20 発表20分 + 質疑応答10分、接続5分

第1会場 司会：上田祐二（北海道教育大学） 奥泉香（東京学芸大学）
場所：地域学部棟 2 階 2450 教室

1-1 中学校におけるアダプテーション活動の実践
—伊坂幸太郎『ヒューマノイド』を用いて—

松岡桃花（大阪教育大学教職大学院・院生）

1-2 通読後のアダプテーションが促す読みの変容
—高校2年生を対象とした「神様」（川上弘美）の実践分析—

石原雅子（関西外国語大学）

1-3 文学の授業における「問い」の連鎖の生成過程に関する研究

西村信作（明石市立大久保小学校）

1-4 異なる記号資源を意識化させた「文学国語」の実践
—映画『蜜蜂と遠雷』を活用して—

高松美紀（東京学芸大学附属国際中等教育学校）

奥泉香（東京学芸大学）

- 1-5 マルチモーダル・テキストを活用した国語科単元の開発
—教科書単元「映像作品の表現を考える」における『ドラえもん』活用を中心に—
羽田潤 (兵庫教育大学)
東条顕穂 (兵庫教育大学附属中学校)

第2会場 司会：住田勝（大阪教育大学） 山元隆春（広島大学）

場所：地域学部棟 2 階 2440 教室

- 2-1 語りを重視した小説教材の学習指導の一試案（高等学校）
—戦争教材を例にして—
高橋南帆 (青山学院大学大学院・院生, 桐朋女子中・高等学校)
- 2-2 「スーホの白い馬」（小学2年生）の感想交流に現れる〈理解・解釈〉
—ガダマーの「地平の融合」を援用して—
野中太一 (暁星小学校)
- 2-3 中学校国語科における書道パフォーマンス授業の映像分析的検討
—総合的な言語活動を支えるイメージ共有と協働表現との成立過程—
村田真樹 (広島市立日浦中学校)
- 2-4 教師や学習者の意図を超えた教室のコミュニケーション
—ルーマン理論から見た文学教育の制御と非制御—
山中勇夫 (兵庫教育大学)
- 2-5 【辞退】

第3会場 司会：幾田伸司（鳴門教育大学） 吉川芳則（神戸女子大学）

場所：地域学部棟 2 階 2430 教室

- 3-1 情報と情報との関係を具象から段階的に捉える小学生向けアプリ教材の開発と効果検証
前野翔大 (兵庫教育大学大学院・院生)
- 3-2 テキストの「評価構造」に着目した〈問い〉の検討
太田諒平 (上越教育大学教職大学院・院生)
- 3-3 評論文教材における批判的読みの変容過程の検討
—振り返り記録と意見文の分析を通して—
愼野拓海 (大阪府立箕面高等学校)
- 3-4 評論教材「水の東西」を用いたアクティブ・ラーニング型授業の構想
—高専1年生での実践を踏まえて—
高槻侑吾 (徳山工業高等専門学校)
- 3-5 文章の構造を捉える力を育む
—論証図を活用した「論理国語」の授業実践とその検討—
戸塚匠 (國學院高等学校)

第4会場 司会：難波博孝（武蔵野大学大学院（院生）） 山元悦子（福岡教育大学）

場所：地域学部棟 3 階 3440 教室

- 4-1 初等国語科の少人数・複式学級における「話し合い」の構造的課題と展望
—全道調査が示す「早すぎる合意形成」と教師介入の限界を起点として—
松下裕幸 (北海道 北斗市立沖川小学校)
- 4-2 小学校国語科における構成主義的な授業デザインの試論と実践的検討
—児童の意味構成過程の分析を通して—
明比宏樹 (広島都市学園大学)

- 4-3 デザインシンキングの考え方を導入した話し合い
—1年生と6年生の比較から—

細川太輔 (静岡大学)

- 4-4 震災の語りの生成と継承
—学習者を読み手から語り手へと転換するために日本海側と太平洋側を結ぶ交流実践—

照井佳那子 (福島工業高等専門学校)

- 4-5 なぜお念仏は届かなかったのか
—国語教育と宗教—

難波博孝 (武蔵野大学大学院 (院生))

第5会場 司会：児玉忠 (宮城教育大学) 坂口京子 (静岡大学)

場所：地域学部棟 3 階 3430 教室

- 5-1 小学校高学年の説明的文章を「書くこと」における構造化と関係を表す表現の指導

山田真由美 (尼崎市立武庫庄小学校)

- 5-2 データを根拠として論理的に書く力を育む単元開発
—第4学年算数科「二次元表の読み取り」と連携した「意見文を書く」実践—

成家雅史 (相模女子大学)

- 5-3 カリキュラムマネジメントを生かした国語科授業の創造
—第5学年「白神山地からの提言」を軸とした提言文作成を通して—

長屋樹廣 (北海道教育大学釧路校)

- 5-4 中学生は音読・黙読による推敲の有用性をどのように捉えているか
—推敲のよさを問う自由記述回答の分析を通して—

吉田史玖 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)

- 5-5 マンガ表現を活用した作文・物語創作指導の授業実践調査

佐野幹 (宮城教育大学)

第6会場 司会：中村和弘 (東京学芸大学) 森田香緒里 (文教大学)

場所：地域学部棟 3 階 3420 教室

- 6-1 高等学校における小論文指導の実践
—パラグラフ・ライティングとディベートの関連性に着目して—

藤田璃央 (茨城県立水戸商業高等学校)

- 6-2 高等学校国語科における「書くこと」の授業開発の提案

長谷川祥子 (青山学院大学)

- 6-3 レポート作成支援のためのグループワーク教材の開発

桐山聡 (鳥取大学)

- 6-4 生成AI時代における課題条件作文の今日的意義
—プロンプトに対応する条件項目と思考過程への働きかけの近似性と相違点—

宝代地まり子 (特定非営利活動法人武庫が丘まちづくりビューロー)

- 6-5 意見文作成における探究的な表現過程の考察
—テーマ別の問い生成の比較分析を通して—

中尾聡志 (熊本市立健軍東小学校, 兵庫教育大学連合大学院学校教育研究科)

第7会場 司会：長田友紀（筑波大学） 富安慎吾（島根大学）

場所：地域学部棟 3 階 3410 教室

7-1 指差しを伴う音読指導の可能性

田村大輔（福島大学大学院・院生）

7-2 「読み描く」とはどのようなことか

—音読と想像の相互作用—

濱田秀行（群馬大学）

7-3 小学校国語科における漢字運用力育成の理論的検討とその実証

—書き換え活動における記述分析を通して—

山口雄嘉子（兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科・研究生）

7-4 小学3年生は未習漢字をどの程度読めるか

—振り仮名付き文章の音読による読みの学習—

岩下真澄（福岡女子大学）

松下達彦（国立国語研究所／総合研究大学院大学）

桜木ともみ（国際基督教大学）

石澤徹（東京外国語大学）

7-5 漢字に関する学力を評価する方法についての検討

—評価方法を記述・発想するための枠組みの構築を中心に—

富安慎吾（島根大学）

第8会場 司会：幸田国広（早稲田大学） 村上呂里（琉球大学）

場所：地域学部棟 4 階 4430 教室

8-1 小学校国語科における、教育的鑑識眼に基づく学習評価

—文章構成をつかむ読解方略指導場面に着目して—

藤原隆博（江戸川学園取手小学校／東京学芸大学連合大学院・院生）

8-2 コミュニケーションにおける「複雑な判断」に関する研究

友永達也（神戸大学附属小学校（神戸大学大学院人間環境学研究科））

8-3 物語学習における児童の読みを支える教師の判断

—児童の言葉や対話の何を捉え、どのように応答を選択するのか—

伊藤陽子（新潟大学教職大学院・院生，新潟市立新通小学校）

8-4 国語科における学び方の検討

—学びの二重ループによる国語学習実践を通して—

小泉芳男（広島市立比治山小学校）

香月正登（梅光学院大学）

木原陽子（長門市立仙崎小学校）

8-5 国語科におけるCBT読解アセスメントの設計論点の検討

堂下雄輝（ベネッセ教育総合研究所）

第9会場 司会：足立幸子（新潟大学） 中村敦雄（明治学院大学）

場所：地域学部棟 4 階 4420 教室

9-1 小学校国語科におけるメタ言語能力育成に関する一考察

—転移可能な概念に「パターン」を位置づけた目標・内容の構造化—

内山公介（山口大学教育学部附属山口小学校）

9-2 高等学校国語科からディシプリナリー・リテラシーを考える

足立幸子（新潟大学）

- 9-3 概念的理解を育む国語科単元設計の方略
—国際バカロレア教育MYPユニットプランと学習指導案の融合—
中村純子 (東京学芸大学教職大学院)
- 9-4 概念はどこまで作り替えられるか
—学習者による三軸フレームワークの再定位—
長澤元子 (北海道函館西高等学校, 国際大学GLOCOM客員研究員)
- 9-5 「言語感覚」はいかに国語科の目標となったか
—昭和43年版学習指導要領に至る系譜—
笹平真之介 (盛岡大学)

第10会場 司会：植山俊宏（京都教育大学） 勝田光（筑波大学）
場所：地域学部棟 4 階 4410 教室

- 10-1 教材『雨月物語』『浅茅が宿』の成果と課題
—採録場面、学習の手引きの分析及び本文の検討を通して—
北岡にこ (早稲田大学大学院・院生)
- 10-2 「詠史詩」教材化についての提案
—日本漢詩伝統の観点に照らして—
樋口敦士 (狭山ヶ丘高等学校)
- 10-3 高等学校国語科における古典学習指導の組み立て
—古典の内容・構成・展開を的確に読むために—
西山明人 (東京農業大学第三高等学校附属中学校)
- 10-4 大学の基礎教養系科目における「文学と人間」の授業実践
—『源氏物語』を教材として—
山田丈美 (中部学院大学)
- 10-5 古典学習における関連づけと意味生成
—翻案活動を通じた文化継承への参与の基盤—
武久康高 (高知大学)

<第1日 10月24日（土）> 【午後】

- 昼 食 12:20～13:50 (シンポジスト弁当支給) 登壇者弁当引換：4110大会本部
- 理事会 12:20～13:50 (理事弁当は会場で配付) 会場：共通教育棟A34
- 総 会 14:00～15:00 会場：共通教育棟A20
- シンポジウム 15:10～17:40 会場：共通教育棟A20

演劇から国語教育を探究する/国語教育から演劇を探究する

—共同で意味を創造する営みをめぐって—

コーディネーター 石田 喜美 (横浜国立大学)
登壇者 (五十音順) 中井 悠加 (広島大学)
 中島 諒人 (鳥の劇場・芸術監督)
 渡辺 貴裕 (東京学芸大学)

- 懇親会 18:00～20:00 鳥取大学学生食堂 ウッドダイナー・アエル

<第2日 10月25日(日)>【午前】

○ 課題研究発表 9:30～12:00 会場：共通教育棟 A 棟 2 階 A20 教室

国語科教育研究の存立基盤 ―〈立脚点〉としての学会―

コーディネーター 鈴木 愛理 (専修大学)
登壇者 (五十音順) 青山 由紀 (淑徳大学)
大島 崇行 (上越教育大学)
篠崎 祐介 (東京学芸大学)
山元 隆春 (広島大学)

<第2日 10月25日(日)>【午後】

○ 昼 食 12:00～13:30 (課題研究発表者弁当支給) 発表者弁当引換：4110大会本部

○ 若手研究交流企画 12:25～13:35 (どなたでもご参加ください) 会場：共通教育棟A34

◎ 自由研究発表 13:40～16:30 発表20分 + 質疑応答10分、接続5分

第11会場 司会：大滝一登 (安田女子大学) 藤森裕治 (文教大学)
場所：地域学部棟 2 階 2440 教室

- 11-1 日中における文学テキストの「個性読み」に関する比較研究
曹新雨 (広島大学大学院・院生)
- 11-2 文学教育における自然・環境の読みを拓く教材の検討
村島舞弥 (広島大学大学院人間社会科学研究科 大学院生)
- 11-3 「平和教材」としての「太平洋戦争」
―国語教科書の中の戦争像の問題―
中村哲也 (岐阜聖徳学園大学)
- 11-4 東井義雄「調べる読み方学習」の今日的意義に関する考察
木上徹也 (兵庫教育大学大学院・院生)
- 11-5 芦田恵之助の読み方指導にある今日的意義 (2)
―令和における「師弟共流」の視点と「自己を読む」ことの実現―
須佐宏 (和歌山大学)

第12会場 司会：出雲俊江 (広島女学院大学) 羽田潤 (兵庫教育大学)
場所：地域学部棟 2 階 2430 教室

- 12-1 「あな作文」にみられる児童のイメージへの構え
―小学校2～6年生におけるイメージとの関係様式の分化―
河上裕太 (聖徳学園小学校)
- 12-2 生涯読書へつながる中学校国語科文学作品の比較・考究学習に関する実践研究(2)
―「走れメロス」を基点として―
代田千晴 (京都教育大学大学院)
- 12-3 中学校国語科文学教材の学習成果に観る「物語観」の形成に関する実践的研究
西村和花 (京都教育大学)
- 12-4 社会に開かれた文学の読みを支援するジェンダー概念の実践的導入と検証
―山田詠美「ひよこの眼」を教材として―
林一晟 (福井県立鯖江高等学校)

- 12-5 クィアに読むことの実践
—異性愛規範の相対化から—

木村季美子 (武庫川女子大学)

第13会場 司会：石田喜美（横浜国立大学） 舟橋秀晃（大和大学）
場所：地域学部棟 3 階 3430 教室

- 13-1 国語科読書指導における「選書」概念の分析枠組み
永井颯人 (北海道教育大学大学院・院生)
- 13-2 説明的文章の「自立読書」が国語科授業外の読書に与える影響
—中学生への実験授業の分析を通して—
古賀洋一 (島根県立大学)
岩下嘉邦 (熊本大学教育学部附属中学校)
- 13-3 国語科における書き換え学習を取り入れた先行実践の整理と分類
石原勇歩 (香川大学大学院・院生)
- 13-4 「論理的に読む、書く」ための授業提案(小学校)
渡辺真由美 (越谷市立北越谷小学校)
- 13-5 論理的文章の「翻作」は「読むこと」をどのように変えるのか
—高等学校における授業実践から—
川崎順未 (北海道教育大学大学院, 北海道釧路北陽高等学校)

第14会場 司会：伊木洋（ノートルダム清心女子大学） 植山俊宏（京都教育大学）
場所：地域学部棟 3 階 3420 教室

- 14-1 「話すこと・聞くこと」指導におけるディベートの活用法
—1990年代のディベート活動実態を踏まえた実践の検討から—
佐藤正光 (早稲田大学大学院・院生)
- 14-2 国語科における「話し合い」学習の開発
—中学校国語科における「話し合い」のメタ認知活動に注目して—
大西伍朗 (大阪教育大学教職大学院・院生)
- 14-3 学習者の話し合い観に関する研究
—話し合い観の対象化と共有による学びの分析—
遠藤清将 (筑波大学附属高等学校)
- 14-4 中学校国語科における議論能力育成に向けた学習指導法の検討
—中学校2年生の事例をもとに—
岩下嘉邦 (熊本大学教育学部附属中学校)
- 14-5 中学校国語「話すこと・聞くこと」における「見方・考え方」
—深い学びを実現した姿の把握を目指して—
神田恵美子 (宇都宮大学)

第15会場 司会：田中宏幸（広島大学） 府川源一郎（横浜国立大学）
場所：地域学部棟 3 階 3410 教室

- 15-1 アダプテーション研究から問い直す創作(2)
—大村はまの実践の分析を通して—
陣野靖広 (福島大学大学院・院生)

- 15-2 生成AIは「書くこと」の授業においていかなる役割を果たすのか
—活動理論の視点による国内外の文献レビューから—
小水亮子 (東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科)
- 15-3 書くことに関する東井義雄の教育観の検討
村上晃一 (北海道教育大学大学院・院生)
- 15-4 三浦東吾の国語科教育論に関する一考察
—生活綴方と作文教育の関係に注目して—
松本圭朗 (近畿大学)
- 15-5 今井誉次郎の生活綴方論の検討
—戦後における展開を中心に—
瀬川千裕 (大阪樟蔭女子大学)

第16会場 司会：篠崎祐介（東京学芸大学） 間瀬茂夫（広島大学）
場所：地域学部棟 4 階 4430 教室

- 16-1 国語教育における接続表現の論理
—市川孝の類型を中心に—
山水敦博 (神奈川県立藤沢工科高等学校, 早稲田大学大学院・院生)
- 16-2 学習者は初読テキストにおいてどのような語に立ち止まるのか
—高校生を対象にした学習者の初読反応語に関する語彙調査—
岡本岳之 (弘前大学)
- 16-3 大学生の日本語名詞に関するメタ言語知識と英語名詞判別との関連
—品詞概念の言語横断的利用可能性に着目して—
三好徹明 (関西国際大学)
秋山英治 (愛媛大学)
南部匡彦 (長野県立大学)
- 16-4 中学校教科書にみる話し言葉・書き言葉教育
秋山英治 (愛媛大学)
- 16-5 国定三期『尋常小学国語読本』における文法の特徴
—国定二期『尋常小学読本』との比較を通して—
勘米良祐太 (武蔵野大学)

第17会場 司会：細川太輔（静岡大学） 渡辺貴裕（東京学芸大学）
場所：地域学部棟 4 階 4420 教室

- 17-1 保育者・教員養成課程における芋植えの教育的価値
—歌と言葉と表現が生まれる場—
本渡葵 (琉球大学)
- 17-2 生成AI時代に「自ら読む力」をいかに育てるか
— 縮約を基盤とした初年次・入学前教育の可能性と、共同実践に向けて —
牛頭哲宏 (神戸常盤大学)
- 17-3 小学校国語科入門期冒頭教材の特質と学びの可能性
—教師・大学生の教材分析を通して—
一ノ瀬里紗 (帝塚山大学)
- 17-4 ヴィジュアル・リテラシーを媒介とした低学年児童の語り概念形成に関する研究
—小学校1年「やくそく」における世界認識の変容過程と視点意識—
岩崎直哉 (富山国際大学)

17-5 【辞退】

第18会場 司会：浮田真弓（岡山大学） 菊野雅之（早稲田大学）

場所：地域学部棟 4 階 4410 教室

- 18-1 戦前における平安朝仮名日記の教材史研究
—『土佐日記』の冒頭文表記に着目して—

力丸陽菜（早稲田大学大学院・院生）

- 18-2 「万葉集」の単元開発と実践
—古典の魅力を引き出す単元の工夫 その10—

森顕子（東洋大学文学部教育学科）

- 18-3 戦後国語教科書における芸能教材の変遷
—教材内容と「伝統芸能」をめぐる用語の変化から—

井関千尋（福島大学大学院）

- 18-4 各期高等学校学習指導要領解説国語編から読みとる「言語感覚」
—「古今和歌集」学習指導構想につなげていくために—

三谷昌士（なし（元國學院大學大学院））

- 18-5 文法事項から語りの特質を捉える
—『土佐日記』「門出」の授業実践から『源氏物語』へ—

齊藤昭子（東京学芸大学）

沖山槇之助（都立上野高等学校）

◎ ラウンドテーブル 13:40～16:30（終了時刻は最も長い場合です。）

R-1会場 場所：地域学部棟 2 階 2450 教室

タイトル：読書行為の多様性を見取るための反応コードブックの開発
—展開法による調査を手がかりとして—

コーディネーター：住田勝（大阪教育大学）

登壇者：幾田伸司（鳴門教育大学）

寺田守（京都教育大学）

山元悦子（福岡教育大学）

砂川誠司（愛知教育大学）

宮本浩治（岡山大学）

富安慎吾（島根大学）

中井悠加（広島大学）

上山伸幸（創価大学）

植山俊宏（京都教育大学）

上田祐二（北海道教育大学）

守田庸一（三重大学）

片山有梨世（三重大学教育学部附属小学校）

河野智文（福岡教育大学）

山元隆春（広島大学）

長岡由記（滋賀大学）

辻村敬三（大阪成蹊大学）

金子萌（岐阜県立岐阜総合学園高等学校）

R-2会場 場所：地域学部棟 3 階 3440 教室

タイトル：手書き能力の育成か芸術性の涵養か
—国語科の教科構造の再編に係わる問題提起③—
コーディネーター：千々岩弘一（鹿児島国際大学）
登壇者：鈴木慶子（長崎大学）
竜田徹（佐賀大学）
鈴木貴史（帝京科学大学）

R-3会場 場所：共通教育棟 A 棟 3 階 A33 教室

タイトル：『伊勢物語』を用いた古典享受史学習の意義と課題
—主体的な読みを促す教材設計を通して—
コーディネーター：宮本淳子（東京学芸大学）
登壇者：奥泉香（東京学芸大学）
小森一輝（同志社大学大学院文学研究科 博士後期課程）
那須充英（奈良女子大学附属中等教育学校）
阿部由美（東京学芸大学附属高等学校）

R-4会場 場所：共通教育棟 A 棟 3 階 A32 教室

タイトル：高等学校国語教育を考える（2）
—高次の学びを一つの視座として—
コーディネーター：小沢貴雄（鹿児島女子短期大学）
登壇者：畑綾乃（筑波大学附属高等学校）
小川一美（東京学芸大学附属国際中等教育学校）
稲井達也（大正大学）
阪井葉月（筑波大学大学院・院生）

R-5会場 場所：共通教育棟 A 棟 3 階 A31 教室

タイトル：リテラシー概念との対話
—未来に読みひらく浜本国語教育学—
コーディネーター：村上呂里（琉球大学）
登壇者：佐藤宗大（玉川大学）
高橋茉由（秋田大学）
榎木貴之（北海学園大学）
梁梨花（慶應大学大学院）
幾田伸司（鳴門教育大学院）

<予告 1月9日（土）> 別日程 *一般公開／無料／参加申込が別途必要

○ 公開講座[Zoomミーティング] 14:00～17:00

説明的文章の教材価値を見つめ直す

司会・進行	竜田 徹（佐賀大学）
話題提供者（五十音順）	篠原 嶺（奈良国立大学機構 奈良教育大学附属中学校）
	舟橋 秀晃（大和大学）
	正木 友則（愛知教育大学）
	三浦 剛（東京学芸大学附属世田谷小学校）

- ・2026年秋より、公開講座は大会会期から離して開催します。
- ・関連情報は 大会広報サイト（3.）に随時掲載します。

5. ご参加の際の留意点（重要）

〔すべての方へ(1)〕 参加申込・ご来場

- 参加申込の方法や金額などの詳細は、一次案内をご覧ください。

大会広報サイトからも情報を得られます。

- **当日、現金での申込・支払はできません（1.を参照）。**

領収書は【発表・参加申込システム】の「領収書自動発行」から発行できます。

本大会では、eduroam アカウントまたはビジター用アカウントをお持ちの方は学内無線LANを無料利用できます。アカウントのない方は、モバイル Wi-Fi をお持ちになるか、資料等のご来場前ダウンロードをお願いします。

〔すべての方へ(2)〕 当日の動き

- **【発表・参加申込システム】「参加証自動発行」から参加証をご自身で印刷し、会場へお持ちください。「参加証」は昼食引換・懇親会入場にも必要です。必ずお持ちください。**なお、本大会では当日に受付デスクを設けません。
- 当日は、正門を進んで左手にあります地域学部棟エントランスへお越しの上、「参加証」を入口でご提示ください。ご入場の際には、**名札フォルダ等をテーブルから各自お取りください（セルフサービス）。**
- 万一、参加者証をお忘れの際は、申込時に受信した「参加申込完了通知」メールをエントランスでご提示の上、空白の参加証にご自身でご記入ください。その手続きには時間を要し、開始時刻に間に合わないなどのケースも生じうることをご承知おきください。
- 発表者には事務局から、当日資料を配付する際は100部の準備を依頼していますが、**紙資料に不足が生じるなどの際は資料データをご利用ください。**「大会資料サイト」のアドレスとID・パスワードは、後日ご案内します。PCやタブレット端末等の携行をお勧めします。

〔発表者の方へ〕

- パソコンは発表者持ち込みでお願いします。本大会では各会場にHDMI ケーブルを用意します。MAC(アップル社)やSurface(マイクロソフト社)などコネクタ形状の異なるものを接続する際は、接続アダプターを必ずご自身でご用意ください（※接続アダプターのお忘れによるトラブルが例年生じております）。また万一に備え、発表資料データを入れたUSB メモリもお持ちください。ただし、**本大会の会場には据付パソコンがございません。**
- 紙の当日資料は会場運営の都合上、A 4 判で極力作成してください。**100部を作成し、当日は各教室までお持ちになり、うち2部を司会に渡して、残部を資料配付用机にご自身で発表順にお並べください。**宅配預かり、印刷、2日目資料の1日目預かりなどは一切承れません。
- 当日使用するデジタル資料のアップは任意ですが、PCやタブレット端末での閲覧を希望される方も多く、紙資料不足時への備えもあり、資料のアップには極力ご協力ください。
- 当日に紙資料を配付されない場合でも、進行や座席配置の都合上、**投影データがある場合はそのハンドアウト（出力紙）2部を司会に、差し支えない範囲でご提供ください。**
- デジタル資料は次のURLへPDFで提出してください。ファイル名の先頭に「**会場番号－発表順お名前**」を正確に記載願います（例:「**8-5 全国花子 当日資料.pdf**」）。記載の際は**プログラムの番号をよくご確認ください。**他の方の資料は絶対に操作しないでください。また学習者等の個人情報や著作権に関する取り扱いにご注意の上、必要な手続きは各自でお取りください。

＊資料 **投稿先**：

<https://drive.google.com/drive/folders/1nBJUCmcAN7LTu7WNcwUNYK12RGXnkTS-?usp=sharing>

※ 資料 **閲覧時** 「大会資料サイト」アドレスとID・パスワードは、後日ご案内します。

○ ラウンドテーブル各会場の設営と使用後の復旧は、各会場にて使用者自身で行ってください。

【要旨集をご希望の方へ】

○ 紙媒体の『発表要旨集』を事前申込期間内にご注文の方には、当日までにご登録住所へ発送します。PDF版の『発表要旨集』は、当日までに参加者全員にデータで配付します。データのダウンロード方法については、改めてメールでご案内します。

6. お問い合わせ先

●参加申込・発表申込・原稿投稿・諸費用に関すること

全国大学国語教育学会 大会ヘルプデスク

E-mail：jtsj-desk@conf.bunken.co.jp FAX：03-5227-8632

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

●年会費に関すること

全国大学国語教育学会 事務局

E-mail：jtsj-post@as.bunken.co.jp TEL：03-6824-9377 FAX：03-5227-8631

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

●第151回全国大学国語教育学会 鳥取大会 に関すること

大会実行委員会（お問い合わせはEメールでお願いします）

E-mail：taku@tottori-u.ac.jp

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101 鳥取大学地域学部 小笠原 拓 宛

●鳥取大会 実行委員会

実行委員長 小笠原 拓（鳥取大学地域学部 人間形成コース）[国語教育学]

事務局長 木村穂乃香（鳥取大学地域学部 人間形成コース）[国語教育学]

以上

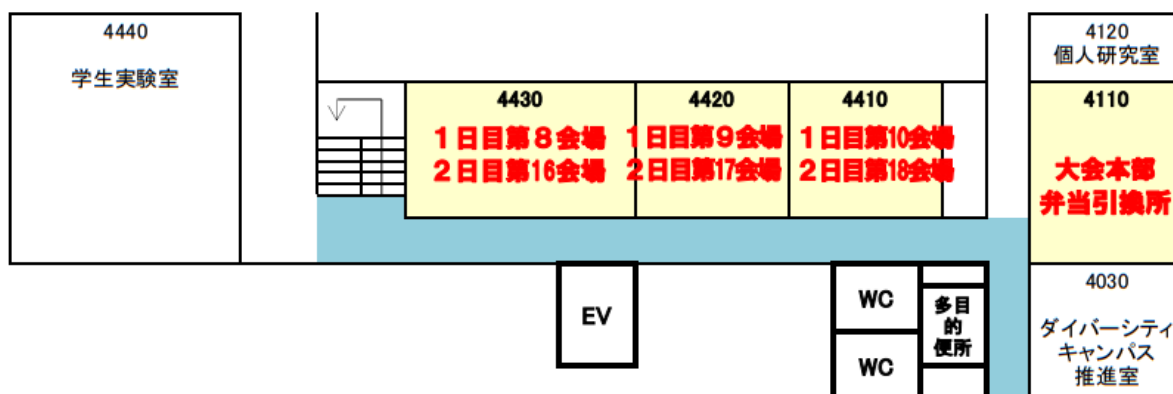
鳥取大学
鳥取地区キャンパスマップ

湖山池
湖山川
陸上競技場
野球場
馬場
農場
ラグビー場
サッカー場
フィールドサイエンスセンター
農機
動物医療センター
農学部・大学院連合農学研究科
醸造きのこ遺伝資源研究センター
情報戦略機構
ものづくり教育実践センター
工学部
保健管理センター
事務局
研究推進機構
第2駐車場
納品機取センター
ゲート 出口
西門ゲート
ものづくり教育実践センター
ベンチャービジネスラボラトリー
図書館
農学部・大学院連合農学研究科
動物医療センター
フィールドサイエンスセンター
農場
馬場
野球場
陸上競技場
ラグビー場
サッカー場
湖山池
湖山川
附属中学校
附属小学校
サークル部室
バードピア
第2体育館
第1体育館
大会会館
武道館
テニスコート
弓道場
湖山クラブ
第1駐車場
出口
ゲート 入口
正門
Tottori uniQ
教員養成commons
芸術文化センター
共通教育棟
地域学部
時計台
キャンパスコワー
事務局長
ゲート 入口
JR山陰本線
鳥取大学前駅
鳥取方面
米子方面

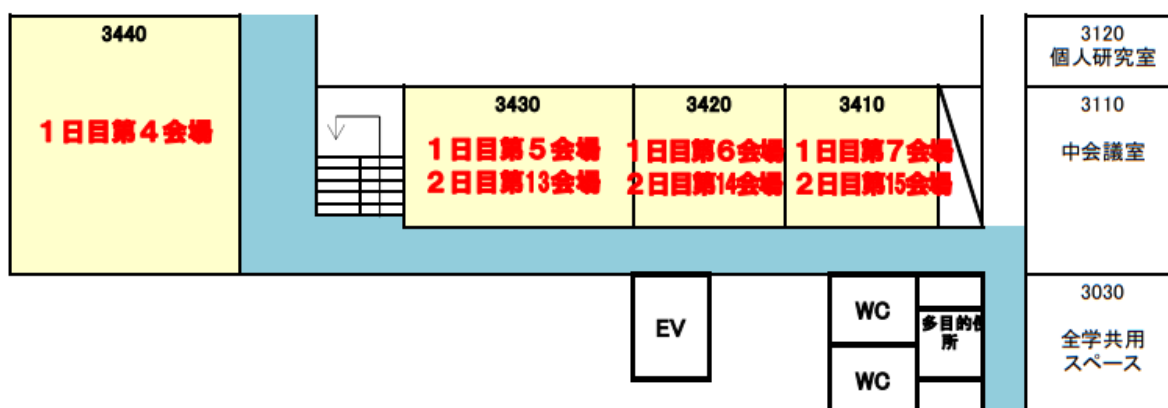
14

○地域学部棟

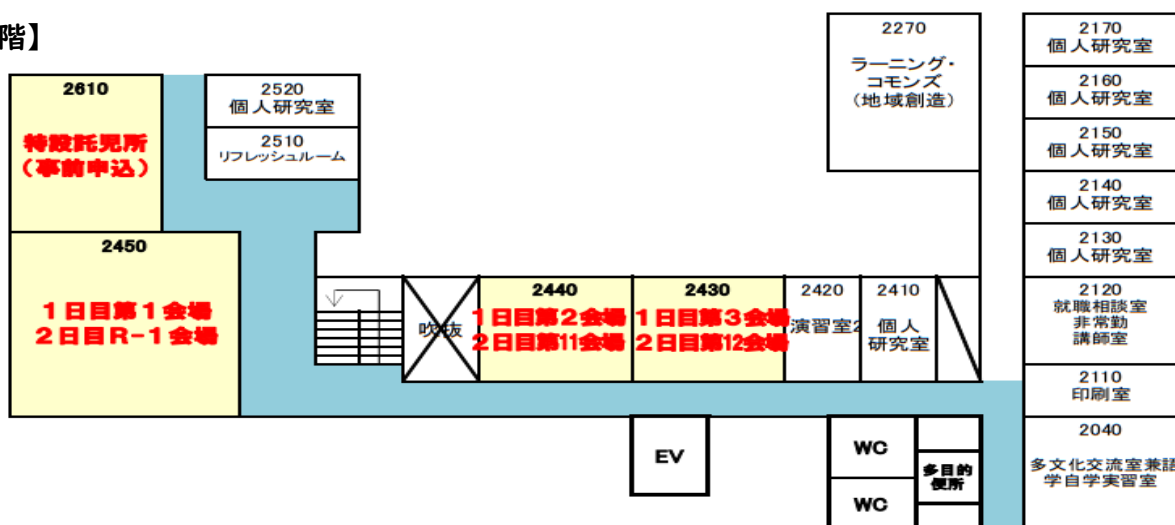
【4階】



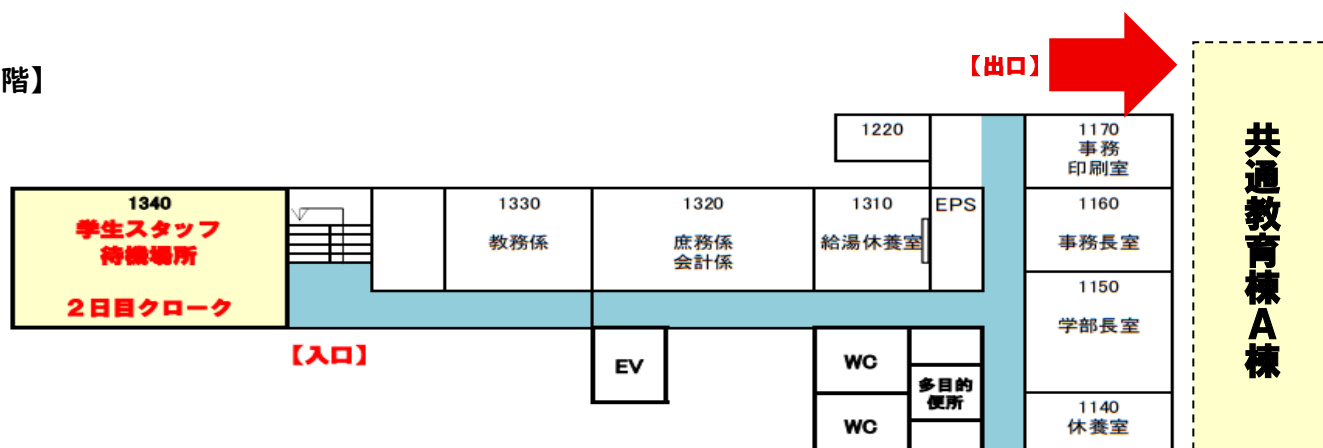
【3階】



【2階】

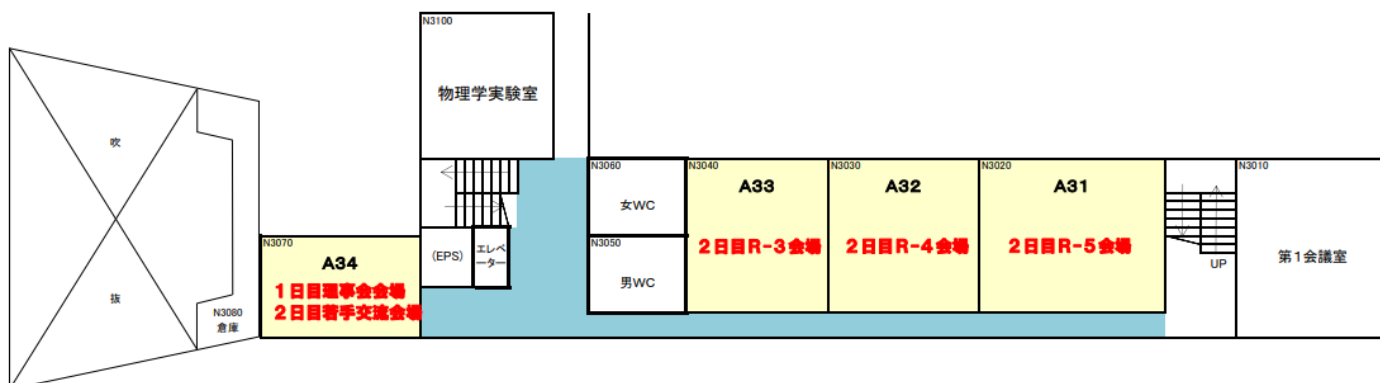


【1階】

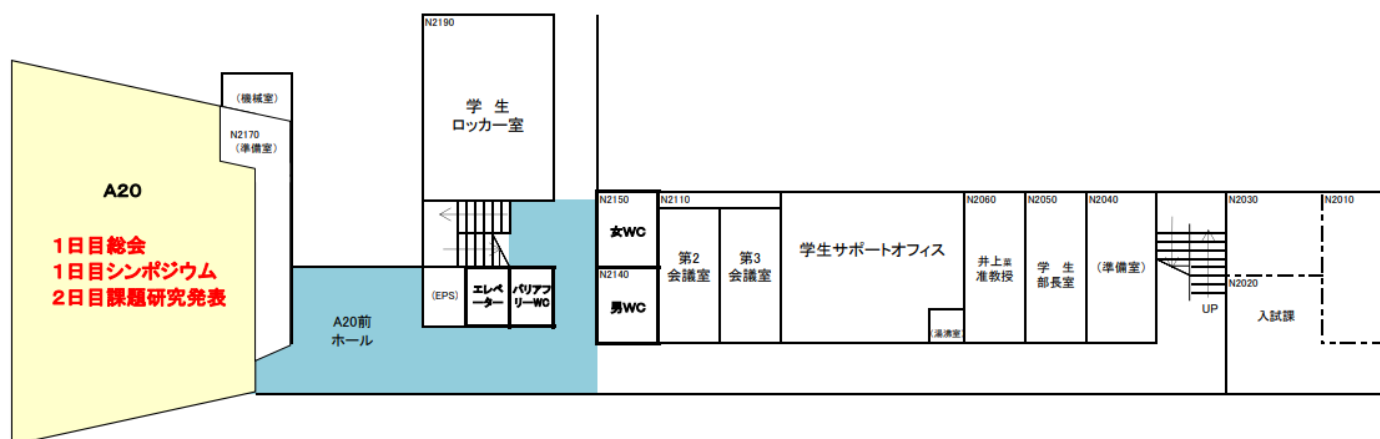


○共通教育棟A棟

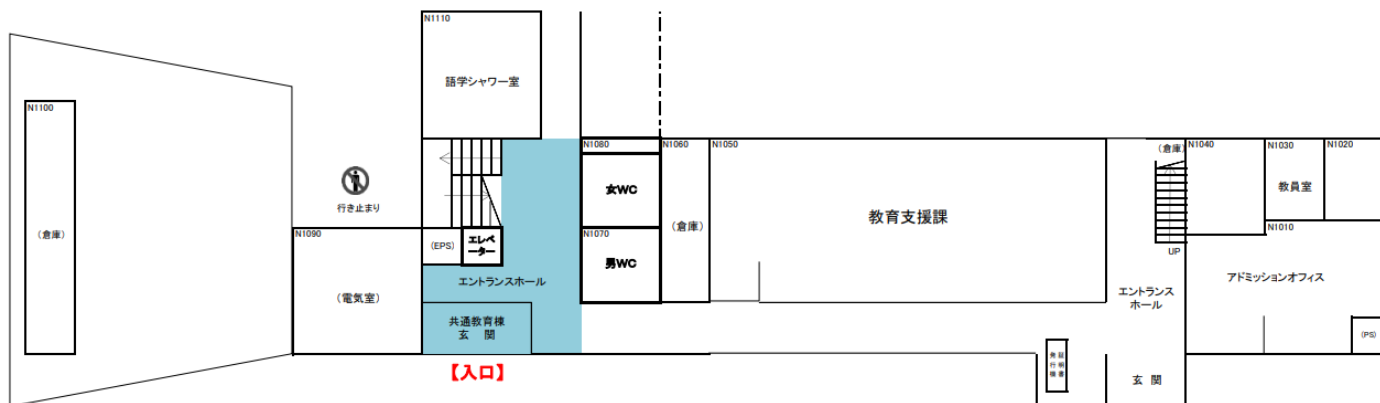
【3階】



【2階】



【1階】



地域学部棟